

## 略歴書（監事候補）

田蔵 隆（たぞう たかし）

富山県立大学 工学部 環境工学科 客員教授、  
徳島大学 非常勤講師、博士（工学）



【専攻分野】地震工学

### 【本会活動】

理事（事業担当）：2005年～2006年

役員候補推薦委員会：2011年～2012年

スペシャルアドバイザー：2012年4月～現在

### 【略歴】

- ・ 1972年3月 中央大学大学院理工学研究科土木工学専攻 修士課程修了
- ・ 1972年4月～1973年3月 中央大学 理工学部 土木工学科 技術員
- ・ 1973年4月 清水建設 入社
- ・ 1992年4月～現在 東京都立大学大学院、中央大学、岐阜大学、関東学院大学、鳥取大学、中央大学大学院、徳島大学などで非常勤講師
- ・ 1993年5月～1994年11月 米国 ニューヨーク州立大学 バッフアロー校客員教授
- ・ 1996年4月 清水建設 技術研究所 部長
- ・ 2003年4月 清水建設 技術研究所 テクノセンター 所長
- ・ 2011年10月～2011年11月 台湾 国立高雄応用科技大学 工学院土木工学系 客員教授
- ・ 2012年2月 清水建設 退職
- ・ 2012年4月～現在 富山県立大学 工学部 環境工学科 客員教授

### 【受賞】

- ・ 地盤工学会：平成17年度「事業企画賞」（2005年5月）
- ・ 地盤工学会：平成17年度「土と基礎、年間最優秀賞」（2005年5月）

### 【委員等】

- ・ 土木学会地震工学委員会、地盤工学会震災記録普及小委員会、日本建築学会振動小委員会、日本地震工学会事業企画委員会など多数

### 【主な著書および主要論文】

- ・ 「構造物の安全性・信頼性」、部分執筆、土木学会、1976年.
- ・ 「地下・基礎構造物 ー設計法の現状と展望ー」、共著、日本溶接協会、1989年.

- ・ 「基礎・地盤・構造物系の動的相互作用 ―相互作用効果の耐震設計への導入―」、共著、土木学会、1992年.
- ・ 「Proc. of The 1st-4th Greece-Japan Workshop on Seismic Design, Observation, and Retrofit of Foundations」, 共編、2005年, 2007年, 2009年, 2011年.
- ・ 「Design of Foundations in Seismic Areas: Principles and Some Applications」、章執筆、NICEE(National Information Center of Earthq. Eng., India), 2007年.
- ・ 「未来を築く新建設技術」、部分執筆、朝倉書店、2008年.
- ・ 大平彰、田蔵隆、中檜新、清水勝美：軟弱地盤中の基礎杭の地震時挙動特性に関する研究、土木学会論文集、第362号、1985年10月.
- ・ 田蔵隆、清水勝美、若原敏裕：Seismic Observations and Analysis of Grouped Pile, Dynamic Response of Pile Foundations Experiment, Analysis and Observation, Geotechnical Special Publication, No. 11, ASCE, 1987年4月.
- ・ 田蔵隆、G. Gazetas：Pile Foundations Subjected to Large Ground Deformations: Lessons from Kobe and Research Needs, Invited Paper for Found. Design and Soil-Structure Interaction: Proc. of the Eleventh WCEE, 1996年6月.
- ・ 田蔵隆、佐藤正義、真野英之：1995年阪神大震災によって生じた橋脚基礎から斜め後方に伸びる地盤亀裂の発生要因について、日本建築学会技術報告集、1999年12月.
- ・ 南莊淳、安田扶律、藤井康男、田蔵隆、大槻明ほか3名：道路橋橋脚基礎杭の地震時被災解析とその対策法に関する研究、土木学会論文集、第661号、2000年10月.
- ・ 田蔵隆ほか8名：コストダウンと耐震性能の向上を目指した新杭頭接合工法の研究開発とその適用例、杭基礎の耐震設計法に関するシンポジウム論文集・報告集、2001年9月.
- ・ 吉田望、田蔵隆、若松加寿江、安田進、東畑郁生、中澤博志、規矩大義：Causes of Showa Bridge Collapse in the 1964 Niigata Earthquake Based on Eyewitness Testimony, Soils and Foundations, Vol. 47, No. 6, 2007年12月.
- ・ 田蔵隆、佐藤正義、張至鎬：護岸の倒壊ならびにそれに伴う液状化地盤の側方流動が杭基礎構造物の耐震安全性に及ぼす影響度に関する遠心実験研究、土木学会論文集A, Vol. 66 No.1, 2010年3月.

## 【所信】

39年間勤務した清水建設を今年の2月に退職し、生まれ故郷の富山県に戻った。幸い4月から富山県立大学で客員教授というポストを得て、県内の種々の団体や組織からの依頼に応じて地震防災工学の知識の普及に努めている。これまでの5ヶ月ほどの活動から、地方行政の担当者ならびに建設に関わる技術者の地震工学に関する知識レベルと危機意識に相当の改善が必要であることを実感している。地方の地震防災の質の向上に寄与することも日本地震工学会の活動の重要な課題だという認識で、今後も学会活動に積極的に参画していきたい。

以上